東京中日スポーツ　2011年（平成23年）6月27日（月曜日）　（第3種郵便物認可）

長渕熱唱！絶叫！！

小学生100人と「TRY AGAIN for JAPAN」大合唱

NHK番組収録でエール

ミュージシャンの長渕剛さん（54）が26日、NHKの音楽番組「SONGS」（7月13日午後10時55分放送予定）の収録で、東日本大震災で大きな被害のあった宮城県石巻市の日和山（ひよりやま）公園で、石巻小学校の児童約100人や、ゴスペル合唱団の約70人とともに復興応援ソング「TRY AGAIN for JAPAN」を大合唱した。被災地訪問は約2カ月ぶり。雨の中、約800人の市民も来場した。サプライズでミニライブを行い「俺もみんなと一緒に闘い続けるから。ネバーギブアップ石巻!!」と熱いエールを送った。（江川悠）

取り囲んで盛り上がる被災者におれとばかりにヒット曲をギター一本で熱唱する長渕剛さん（中央）＝小学生とも気さくに話した＝宮城県石巻市で

「ネバーギブアップ!! 石巻」

2カ月ぶり被災地

震災後、被災地向けのラジオ番組「長渕剛 RUN FOR TOMORROW～明日へ向かって～」を立ち上げ、被災者の生の声を伝えてきた。また、4月16日には、石巻市や航空自衛隊松島基地を慰問。ライブなどで被災者と触れ合うなど、自分なりの被災地支援に取り組んできた長渕さん。

これらの活動から「被災者には歌が必要」と実感。そこで、前を向いて生きることの大切さを伝える楽曲「TRY AGAIN」に、プロのゴスペル合唱団のメンバーや歌手を目指す学生、小学生ら約100人の声を集め、オルガン演奏と人間の声のみでアレンジした。この国の絆を感じたことし、それを被災地で歌うことが次の大きな目標となっていたという。

番組収録地の日和山公園は、約2000世帯が壊滅した南浜・門脇町地区が見渡せる高台にある。鎮魂と希望の歌を届けるのにぴったりの場所だった。「一人一人が『平』と書いて絆になる。糸ってやわらかだけど、結びあえば強固になる。声の粒も重なっていけば大きなものになる。それを力の歌、復興の歌として放ちたかった」と話した。

その趣旨に賛同した石巻小学校の児童は一週間前から練習を重ねていた。長渕さんはこの日の収録前に同小を訪れ、子どもたちと円陣を組んで激励した。

「僕はね、津波よりも大事が怖かったんだ」と純粋な気持ちを打ち明ける少年が気がいっぱいに歌う姿を見て「どんな時代も子どもの声や笑顔は希望であり、宝だね」としみじみと話した。

絆の力に感無量

東京から来たコーラス隊17人と、仙台在住の合唱団員20人と学生32人も、この日が初めての“アンサンブル”となったが、あいにくの雨でずぶぬれになりながら、美しいハーモニーを空にこだまさせていた。歌う児童らもプロとの共演に大張り切りの様子。市民らも曲が終わると大喝采で応えていた。

「三十数年（音楽活動）ベントよりも、これほどはなかったねと長渕さんも感無量の表情を見せ、予定にはなかったが、ギター一本でヒット曲の「とんぼ」と「乾杯」を弾き語りし、集まった人たちは大喜びの様子だった。

なお、「TRY AGAIN for JAPAN」は7月7日から音楽配信サイト「ドワンゴ」で着うたフル®が独占配信される。